

2010 アジアパラ広州大会の選手推薦について

日本身体障害者陸上競技連盟

2010 アジアパラ広州大会の推薦については、連盟が選考委員会で選手選考し、JPC へ推薦する。ただし、JPC からの選手枠数内で推薦する。

(1) 参加する選手の条件

- ① 2010 年シーズンの IPC 陸上部門に登録し、ライセンスを取得していること。
- ② 標準記録を突破していること。
- ③ 2010 年 12 月 1 日現在 14 歳以上の選手。

(2) 標準記録突破のための指定大会

- ① 第 13 回九州チャレンジ陸上競技選手権大会
- ② 第 21 回日本身体障害者陸上競技選手権大会
- ③ 2010 大分陸上
- ④ 第 15 回関東身体障害者陸上競技選手権大会
- ⑤ ジャパンパラリンピック陸上大会（仙台大会）

ただし、日本パラリンピック委員会の最終締め切り日の関係で指定大会に入らない大会もある。

(3) 連盟の選手選考基準

- ① アジアパラ大会は、IPC 公認大会なので、ロンドンパラリンピックを目指す New クラス (2010 年の IPC Sports Data Management System および IPC Athletics Athlete List で New と記録されている) で、かつ JPC 派遣の国際大会に参加したことがない選手。(選手数の 30%)
- ② 世界選手権ティアードイベント種目(「実施検討中種目」として現在 IPC で各大会での状況を検討している種目参加人数が少ない場合は、今後削られてしまう)該当選手。(選手数の 20%)
- ③ 日本代表選手として規律ある行動がとれる選手。
- ④ **JPC より陸上競技選手枠 男子 22 名、女子 8 名、合計 30 名の選手を、選考委員会を持って JPC に推薦する。**

(4) その他

滞在諸経費、競技用ユニフォーム等々で選手 1 名あたり 10 万円徴収する。

2010 広州アジアパラス競技大会及び 2011 世界選手権大会参加費負担金について

日本身体障害者陸上競技連盟
理事長 山本 行文
強化委員長 小林 順一

平成 22 年度日本身体障害者陸上競技連盟として 12 月に開催される 2010 アジアパラス競技大会（中国広州）、平成 23 年 1 月に開催される 2011 IPC 世界陸上選手権大会に選手を派遣することが決定していますが、平成 22 年 JPC の補助金（強化費）が大幅に削減されことにより、両大会に参加する選手・役員に参加費負担を下記のとおりお願いすることにしました。

1) 選手派遣と経費負担について

- ① 2010 広州アジアパラス競技大会は、選手選考を当連盟が行ない JPC に推薦して JPC が選手決定及び大会派遣行を行ない、原則派遣費（一人あたり約 300,000 円）は JPC 負担であるが、今大会は競技団体負担額として、選手・役員 1 人あたり 30,000 円を JPC に支払う必要があります。
- ② 2011 世界選手権大会は、選手選考を当連盟が行ない、JPC 経由で参加申込みを行い当連盟が大会派遣を行なう。派遣費として 1 人あたり約 500,000 円（渡航費、エントリー費、宿泊費、ユニホーム等）は個人負担となります。

* 両大会とも当連盟の推薦が無いと参加できない大会であることから、当連盟として両大会に参加する選手・役員に下記のとおり参加負担金を徴収することに決定いたしました。

2) 選手負担額

- ① 2010 広州アジアパラス競技大会の参加者
 - ・総経費の 3 分の 1 負担として 1 人あたり 100,000 円
- ② 2011 世界選手権大会の参加者
 - ・総経費の 3 分の 1 負担として 1 人あたり
 - A 指定 150,000 円
 - B 指定 250,000 円
 - CD 指定 400,000 円
- ③ 2010 広州アジアパラス競技大会、2011 世界選手権大会の両大会の参加者
 - ・総経費の 3 分の 1 負担として 1 人あたり
 - A 指定 250,000 円
 - B 指定 350,000 円
 - CD 指定 450,000 円
- ④ 役員については両大会とも 1 人あたり 50,000 円

3) その他

- ①当連盟としては経費節減の取り組みとして2011 世界選手権大会の派遣費については独立行政法人福祉医療機構に補助金申請しているので、申請が通れば個人負担の減額を行いません。
- ② 2011 世界選手権については当初見積の予定より出発を1日（1泊減）遅らせる案で見積を旅行社に再度提出依頼をしています。
- ③ 2011 世界選手権においては選手の日程に合わせて前半型、後半型の2パターンぐらいの派遣を考え経費節減に努める必要があると思います。（クラス分け、競技日程等調整のうえ）
- ④ 2011 世界選手権において一部の選手から事前合宿をオーストラリアで行なって現地に入りたいとの要望も出ていますので検討する必要があると思います。

* 経費については上記金額が基本的には上限でありこれ以上の負担増は考えていませんが、外国で事前合宿をして現地に入るケースは別途負担が増えるため要検討します。